

目次

- 01 編集方針
- 02 トップメッセージ
- 03 東海理化 プロフィール
- 04 東海理化製品

環境報告 Environmental Report

05 環境活動の取組み事項

特集 1

07 遠隔操作デバイス（タッチパッド式） 新製品

特集 2

08 ホログラム加飾ステアリングホイール

特集 3

09 グローバル環境マネジメント

11 低炭素社会の構築

16 循環型社会の構築

18 環境保全と自然共生社会の構築

21 環境経営

26 環境取組みプラン実績

社会性報告 Social Report

27 コーポレート・ガバナンス

28 コンプライアンス/社員行動指針

29 社員との関わり

35 社会との関わり

36 お客様との関わり

37 仕入先様との関わり

38 ●第三者意見 杉山 範子特任准教授 「環境・社会報告書2015」を読んで

編集方針

本報告書は東海理化グループ環境および社会性に関する活動を報告し、ステークホルダーの皆さまとのより良いコミュニケーションを図ることを目的に作成しています。できるだけ具体的かつ、その効果がわかるような報告内容とすることを心がけるとともに、編集・デザインに関しては、文章や色づかいに配慮するほか、文字フォントとしてユニバーサルデザインフォントを採用するなど、読みやすさに配慮しています。

また、報告書の客観性・信頼性向上のために「第三者意見」を掲載しました。今年度は名古屋大学の杉山範子特任准教授に依頼し、その結果をP.38に掲載しています。

▶ 対象範囲

株式会社東海理化および東海理化グループの取組みを報告しています。

▶ 対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日

※活動の理解を深めるものとして、一部2015年4月以降の活動や計画も記載しています。

▶ 対象読者

お客様、仕入先様、株主様、地域社会、社員など、当社と関わりのある全てのステークホルダーの皆さま。

▶ 参考ガイドライン

- 環境省「環境報告書ガイドライン2012年度版」
- GRI「サステナビリティレポートガイドライン（第3版）」

本報告書に掲載しているデータについては、最新のデータ（2014年度末時点）に見直しております。（過去の報告書に掲載したデータとは異なる場合があります。）

環境・社会報告書は 4つのツールで構成されています

環境・社会報告書 2015

2014年度の
環境・社会性の活動を詳しく
ご紹介している年次報告書です。

ダイジェスト版

東海理化の環境・社会性の
取組みをわかりやすく
ご紹介している情報の入り口です。

エコデータファイル 2015

環境に関わる
より詳しいデータ資料を
ご紹介しています。

ホームページ

<http://www.tokai-rika.co.jp/>

東海理化の事業活動から製品情報、
過去の環境活動、IR活動（経済性報告）
などを紹介していきます。

本誌の発行・環境活動についてのお問い合わせ

株式会社東海理化 施設環境部
〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
TEL (0587) 95-9002 (直通) FAX (0587) 95-1261

自然、地域と共生する企業をめざして

当社グループは、人とクルマのより良いコミュニケーションをつくり出す製品の製造・販売を行う自動車部品のグローバルサプライヤーとして、世界14カ国に拠点を設け事業を展開しております。

2014年度は、新興国の一部で成長の鈍化が見られたものの、米国や欧州では景気の回復が継続しており、世界の自動車市場は年9千万台弱の規模に拡大しています。当社グループにおいては、12月にスイッチ類の世界各地への安定供給を目的として、フィリピンの新工場を稼働しました。この新工場は、自然換気による空調レス、太陽光パネルの設置など環境にやさしい仕様となっています。製品についても2014年度は、日本初となるタッチパッドのリリース、第3世代のシフトレバー開発などを通して、ユーザーの目に見える部分の利便性やデザイン性の向上を実現し、お客様のニーズに答えています。

環境活動については、第5次環境取組みプランに基づく活動を推進しており、2014年度は全ての項目において目標を達成することができました。2015年度は環境取組みプランの最終年度である

ことから、確実に目標を達成できるよう活動を推進していきます。環境は、生産活動の基盤となる重要な要素の1つと捉え、今後とも全社一丸となって取組みを推進していきます。

社会貢献活動では、ステークホルダーの皆さまの期待に応える活動を行うとともに、信頼され続けることを基本理念としております。競争力強化に向けた社員のやりがい・働きがいを引き出す諸制度の整備や、グローバル競争を勝ち抜くための人材育成にも力を入れています。

当社グループとしましては、「品質の確保」「グローバルでのモノづくりの着実な強化」「次世代製品の開発」「強い収益基盤の確立に向けた抜本的取組みの強化」「グローバル拠点の強化」に取組み、将来にわたる安定的な成長基盤を築いてまいります。また、「スピード、実行、フォロー」をモットーに、一人ひとりが質を高め、技を究めるとともに、法令順守、社会貢献など、社会的責任を果たすことで企業価値向上に努めてまいります。今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

経営理念

1. お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する
2. 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす
3. 社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす



株式会社東海理化
取締役社長

牛山雄逸